

郡上市明宝気良 地歌舞伎 かわら版 拾巻号

「清流の国ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」
高雄歌舞伎・気良歌舞伎が出演!



仮名手本忠臣蔵六段目 勤平腹切の場(気良歌舞伎)
※本公演はYouTube「ぎふ清流文化プラザチャンネル」にて視聴することが可能ですので、是非ご覧ください。

今年もやります!
おうちで歌舞伎! 気良歌舞伎映像配信

昨年、新型コロナウイルスの影響により、お客様に
来場いただいていた歌舞伎公演は困難となったことか
ら、「おうちで歌舞伎! 気良歌舞伎映像配信プロ
ジェクト」を立ち上げ、気良白山神社祭礼の当夜に
郡上ケーブルテレビおよびYouTubeにて事前収録し
た舞台映像を配信いたしました。はじめての試みで
したが、普段、会場に足を運ぶことができないお年
寄りの方にも「観ただけ」で、YouTubeで配信
することによって郡上のみならず、日本全国、中
は海外の方にも「観ただけ」など、新たな「絆」が
生まれる企画となりました。

「これも、地域の皆さまをはじめ、ご支援いただき
ました方々のお陰であると気良歌舞伎一同感謝し
ております。
さて、本年も新型コロナウイルスの影響がまだまだに
残っている中、お客様に会場に来ていただいていたの公
演開催は困難であると判断し、昨年同様、映像配
信での上演とすることいたしました。
しかし、やるからには昨年以上のものを皆さまに
お届けしたい! ということで新たなプロジェクトに
挑戦することいたしました。

令和三年六月二十七日(日)、ぎふ清流文化プラ
ザにて「清流の国ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」が開催
され高雄歌舞伎と気良歌舞伎が出演しました。
本公演は昨年の六月に開催予定でしたが、新型コ
ロナウイルス感染拡大の影響のため延期となってい
たものです。観客は客席数の半分となる200名
限定、おひねりや大向(う)かけ声)も禁止とする
など感染予防を徹底しての開催となりました。
今回は郡上市の二団体での公演ということで、演
目についても事前に相談し、よりお客様に歌舞伎を
楽しんでいただけるよう歌舞伎の名作「仮名手本
忠臣蔵」の五段目・六段目を気良歌舞伎、七段目
を高雄歌舞伎が上演いたしました。



←自宅で家族と観覧



→寝たきりのお年寄りも

昨年の「おうちで歌舞伎! 映像配信」様子

通し上演に挑戦!
「通し狂言 仮名手本忠臣蔵」

今年の映像配信では歌舞伎の人気演目「仮名手
本忠臣蔵」の通し上演に挑戦します!
歌舞伎では上演時間、配役、舞台装置等の様々
な制約の中でお客様に楽しんでもらうため、長い物
語のうちの見どころの多い場面だけを上演する「見
取り上演」が多く、例えば仮名手本忠臣蔵でいえば
七段目だけが上演されることも多くあります。
一方、その長い物語を順を追って上演することを
「通し上演」と呼びます。「通し上演」することで、
お客様に物語を深く理解していただき、より歌舞
伎を楽しんでもらうことができます。

今年六月二十七日のぎふ清流文化プラザにお
いて気良歌舞伎が「仮名手本忠臣蔵五段目・六段
目」、高雄歌舞伎が「七段目」を上演し、その公演
が映像配信されております。
そこで、今回はさらに「仮名手本忠臣蔵三段目」
および「同九段目」を新たに収録することで、映像
配信ではありますが「通し上演」を実現させようとい
う地芝居・地歌舞伎団体としては極めて挑戦的
な企画となります!
今年も気良白山神社祭礼の当夜に郡上ケーブル
テレビおよびYouTube「気良歌舞伎チャンネル」にて
放映いたしますので、皆様ぜひ御覧ください!

「放映日」
令和三年九月十八日(土) 19時より
「演目」
仮名手本忠臣蔵三段目 足利館門前進物の場
殿中松の廊下の場
仮名手本忠臣蔵九段目 山科閑居の場

ご寄付のお願い

これまでも気良歌舞伎は地域住民の方をはじめ、皆さまからのご寄付
によって公演ができました。今回のプロジェクトも皆さまからのご寄付によっ
て実現が可能となるものです。わたくしどもの思い、活動に賛同していただ
ける方は、ぜひともご寄付いただければ幸いです。詳しくは下記事務局へ
お問合せ、または専用のWEBサイトをご覧ください。

WEBサイトからは、銀行振込およびクレジットカードにてご寄付
いただけることが可能となっております。(スマートフォンからの
寄付申込も可能です)

<http://congrant.com/project/kerakabuki/3250>



編集後記

新型コロナウイルスの影響のためお
客様を入れての公演の開催を断
念せざるを得なくなったこの二年
間。全国各地の民俗芸能にとつ
ては試練の時期だといえるかもしれ
ません。しかし、個人的に以前か
ら感じていることがあります。そ
れは伝統文化や民俗芸能を続け
ていくためには「守る」という意識
ではなく、「挑戦する」、「変化を
怖がらない」という意識こそが必
要なのではないかということです。
先人たちが受け継いだ伝統は、
その時々の人々、環境などに適応
しながら、つまり、変化しながら
現在まで続いてきたはず。今、ま
さにそういった意識が問われてい
るのではないのでしょうか。気良歌
舞伎も新たなプロジェクトに挑戦
しています。皆様の「支援をよろ
しく願っています」。

郡上市明宝気良・地歌舞伎かわら版
拾巻号(令和3年8月号)
発行 気良歌舞伎一座
【問合せ】
気良歌舞伎事務局
kerakabuki@gmail.com
検索【気良歌舞伎】
事務局(澤) 090-7040-9899

仮名手本忠臣蔵五段目 斧定九郎

